

「芸術の秋にふれる!!」平成21年度せたな町民文化祭開催

今年度の町民文化祭がせたな町内各区において盛大に開催されました。

「作品展示の部」では、個性あふれるアイデア作品や工夫を凝らした作品など、芸術の秋にふさわしい数多くの様々な作品が出展されました。

また、「芸能発表の部」では、保育園児や小中学生、文化団体やサークルの方々が出演し、合唱や器楽演奏、郷土芸能や日本舞踊、ダンスなどが披露され、日頃の練習の成果を思う存分発揮していました。

■作品展示の部

大成会場 [大成町民センター]
10月31日(土)～11月3日(火)
出品点数927点／鑑賞者約300名



瀬棚会場 [B & G海洋センター体育館]
10月31日(土)～11月2日(月)
出品点数950点／鑑賞者約530名



北檜山会場 [ふれあいプラザ]
10月31日(土)～11月1日(日)
出品点数752点／鑑賞者約400名



■芸能発表の部

大成会場 [大成町民センター]
11月7日(土)
出演10団体／鑑賞者約300名



瀬棚会場 [瀬棚町民センター]
11月8日(日)
出演11団体／鑑賞者約250名



北檜山会場 [ふれあいプラザ]
11月15日(日)
出演13団体／鑑賞者約200名



農家が丹精を込めた米作は夏の天候不順の影響から、作況が今一步の出来秋となったようですが、色とりどりの旬の食材とともに「新米」の美食感を味わう季節となりました。

炊きたての「新米」は独特の甘味を帯びた香りがあり、古来、四季の移ろいと豊穣に感謝の念をもって食す習いとなっており、各地各様の神事も執り行われています。新米の食感も冷えても光沢があり、噛むほどにその粘りや味わい深さがある。特に、「おにぎり」の味は格別のものであり、昔から山仕事、漁労などに向く働き手のため、主婦が暁起きで心込めて特大のものを拵えたものです。戦地での兵糧をはじめ外出や旅の持参食等々、日本の食文化の一つでもありました。

ところで、「おむすび型社会」を提唱しておられる清水裕二氏(財団法人・アイヌ文化振興委員)は、米粒は同じように見えても一粒一粒をよく見ると、少しずつ形が違う米粒が何らかの繋がりができ、うまく結びつくことで「おむすび」になるとして、いろいろな民族の文化に優劣はなくそれぞれが互いに尊重されなければならないと説いています。

コンビニで手安く「おにぎり」を購入できる昨今ですが、「母ちゃんが愛情を込めて作ったおむすび」が見直される時代のような気がします。

「友愛」に満ちた国づくりが標榜される今、日常身近にある物事は当たり前のものは無く、多くの人事が関わって存在することを再認識し、感謝と思いやりの心をつなげた家庭、地域社会の構築が望まれます。

プリズム



牧場体験会 ～せたなっ子を育てる健全育成事業～



10月24日（土）北檜山区丹羽の天津牧場にて牧場体験会を実施いたしました。当日は北檜山区、瀬棚区の幼児から大人まで計25名の参加者が草やり、搾乳、バター製作、など牧場の仕事を体験しました。参加者は皆口々に「来年も来たいね」と満足そうな表情で牧場を後にしました。



せたな町高齢者大学修学旅行



10月19日（月）～20日（火）、平成21年度せたな町高齢者大学（北檜山いきがい学園・大成くおん大学・瀬棚寿大学）事業として、学生59名と引率職員を含め1泊2日で余市・定山溪・洞爺方面への修学旅行が実施されました。

ニッカウイスキー余市蒸留所、豊平峡ダム、サイロ展望台、ウインザーホテル見学など新たな発見と貴重な体験を重ねるなかで、学生各々は社会的視野を上げ、互いにふれ合いを一層深めるとともに今後の学びへの意欲と楽しかった思い出を土産に帰着しました。

体力・運動能力テスト



10月12日（月：祝日）、せたな町民体育館において「体力・運動能力テスト」が開催されました。本事業は、せたな町体育指導委員の会が主催し行われたもので、町内の小学生約50名が参加しました。

最初に準備運動をして、各学年ごとに7班に別れ、違う学校の子もたちと普段あまり行うことの無い「握力」などのテスト項目を、記録を比べたり話しをしたり楽しそうに測定していました。なお、この事業は来年度以降も継続して行われる予定です。



新体力テスト実施要項を参考に体力測定を実施（6種目）

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび
- ⑤20mシャトルラン（往復持久走） ⑥立ち幅とび

せたな町スポーツ専門講座



11月9日（月）、せたな町民体育館において「せたな町スポーツ専門講座」が開催され、講師のNPO法人心・体・食サポート協会 専属指導員 山本 敏美 氏の指導のもと、30代から70代の男女合わせて約35名で行われました。

内容は、自宅で簡単にできる「ながら運動」というペットボトルを使用しながら普段使用しない筋肉を効果的に使用する運動や、「体幹トレーニング」という体を動かさずに行うトレーニングなどを行い、普段見慣れない動作や笑いを混ぜた指導方法により参加者は悪戦苦闘しながらも楽しく心地良い汗を流していました。